

## 第2グループ

## 令和 1年度 第 3回 議事録

【年間テーマ スピーチロックについて考える】

令和 1年 11月 18日提出

日付	令和 1年 11月 9日 (土)			
場所	TKPガーデンシティ博多新口		記録者名：村井 利香	
出席者 (敬称略)	福西会南病院	東福岡和人会病院	シーサイド病院	丸山病院
	古賀 達也	池田 寿子	井原 直美	原野 剛
	新小倉病院	社会保険 稲築病院		
	福田 真由美	村井 利香		
テーマ	2月の発表に向けての事例検討			
結論	ユマニチュードの技法を用いて、どのような対応を実践すると患者の尊厳や、家族の思いを守ることが出来るのか、私たちの普段の言葉かけや態度、見守りの方法などを話し合う。			
決定事項	グループ内の施設で実際に起った起った事例をグループで検討し、次回発表をどのようにまとめていくかを考え、発表内容を検討。			
備考	次回2月は、必要なものを各自持参する。			
次回討論項目	発表			

抑制廃止とケアの質を高める会 事務局

E-メールアドレス info@famcf.jp

(FAX.092-691-3961)

## 1 1月定例会 Q & A

### 【A病院からのQ】

私たちのA

- ・入院時に抑制は基本しないと説明をしている。どうしても必要なら受け入れ方を考えている。
- ・転院により環境が変わる為、状況を見て必要ならカンファレンスなどを行い、抑制の検討をしている。
- ・抑制を実施したら必ず抑制除去に向けてのカンファレンスを毎日行い、抑制を実施しない工夫をしている。
- ・抑制は、医療処置的に必要なことが多く、医師の指示のもとに実施することもある。
- ・医療安全委員会の作成したフローチャートを使用している。

### 【B病院からのQ】

私たちからのA

- ①内服は基本医師の指示のもとに服用させている。半減期の短いものを処方されることが多い。効果を報告し、増減の指示を受ける。内服の効果は個人差がある為状況によって違いがあるが、夜間だけではなく昼間の状況も観察している。
- ②認知症加算にはカンファレンスは必要。  
評価はカンファレンスの中で評価をする為、評価の都度実施することが必要。